

たんぽぽ通信 No.113

発行日：2004年 12月 17日
住所：磐田郡福田町中島138
発行者：たんぽぽ共同作業所
TEL：0538-58-1541
e-mail：tanpopo-kyodo@ny.tokai.or.jp



地域の方とのふれあい あちこちの町へ、秋は大忙し！

「福田イキイキ

みんなの広場」

10/24

「磐田ふれあい

まつり」10/31

「浅羽ふれあい

夢市場」11/21

「福田ふれあい

まつり」11/23

昨年のふれあい祭りで「子どもくじ引き」をやったところ、行列ができるほど好評でしたので、今年はさらに「おもちゃすくい」も加えて参加しました。次から次へと小さな手が差し出され、目が回るような忙しさ。小さな子どもの手を支えるお母さん。孫の手を引いたおばあちゃん。子どもそっちのけで、一生懸命すくっているお父さん。目をきらきらさせながら取り組んでいる子どもたち。それに対して、メンバーはしっかり対応していました。



終わったあとに、「疲れなかった？」とメンバーに聞いたら「楽しかったです。」という返事が来ました。地域の方たちと楽しい交流ができたひと時でした。



精神保健福祉士の卵が実習

一緒にスポーツや料理を楽しむ

(静岡医療科学専門学校より3名、9月21日、22日)

◎ レクリエーションでドッジボールをしたり、料理教室で、炒飯、スープを作ったりして、作業所の様子を楽しみながら、観させていただけました。作業は、一見単純そうに見えても、細かいところが難しく、どうしてもほかの人に比べてこなす量が少なくなっていました。メンバーさんたちに丁寧に教えていただいております。アルミ缶つぶしは時間がかかりそうでしたが、テキパキと動いて、思ったほど時間はかかりませんでした。作業をするときの皆さんの集中力を見習いたいです。職員の方々やメンバーさんとさまざまな話ができることが収穫でした。たんぽぽ作業所の家族のような雰囲気は、精神保健福祉の分野で仕事をする上で、常に忘れないでいきたいです。来年のソフトバレー県大会では、よい結果を残せるよう、応援しています。(中山康人)

◎ 一日目はドッジボールやバドミントンでしたが、不慣れな私たちが指導をして、楽しんでもらえたか心配でしたが、皆さんが活発に活動してくれたので、嬉しかったです。また、作業をするうえでも、親切にやり方を教えていただきありがとうございます。この実習でどんなふうにコミュニケーションを取っていけば良いのか私のなかでの課題でもあったのですが、皆さんの方で私たち学生に興味を持ってくれたり、たくさんの質問をしてくれたりと、反対に学ぶ事も多かったような気がします。たんぽぽ共同作業所は、職員の方がとても優しく、皆さんととても仲良くお付き合いをしていること、そして皆さんも笑顔で作業をしていて、とても和気あいあいとした雰囲気のある場所だと思いました。ここでの経験を活かして、これからの実習を励んでいきたいと思います。

(伊藤文穂)

◎ 体育館のレクではドッジボール、バドミントンなどで一緒に汗を流し、お互い初対面の緊張をほぐし楽しむことができました。やはり、スポーツというものは人と人とのコミュニケーションをはかるのにすごく良い方法だと思います。皆さんは、大会などを目指しバレーボールをしていますね。これからもそのような場で多くの人と関わり合い友達の輪を広げていくと良いのではないかと思います。皆さんの色々なことに真剣に取り組む姿が多く見られてこちらも気持ちよく実習することができました。皆さんの頑張る姿を見習いたいと思います。もう一度バドミントン挑戦お待ちしております。

(長澤洋平)

